



Co-Creation vol.02

with the community 【大学・地域連携推進室 広報誌】



CONTENTS

- P1 学長挨拶 — Co-Creation 第2号発行にあたって—
- P2-6 特集 PBL —地域と連動した課題解決型学習の取り組み—
- P7-8 地域連携／新宮町、古賀市、福岡市
- P9-10 国公私3大学連携／長崎大学・熊本県立大学・福岡工業大学
東部地域大学連携／九州産業大学・福岡女子大学・福岡工業大学
医工学連携／福岡和白病院・創生会・福岡工業大学

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

写真上段：古賀市「バス乗っ得キャンペーン」協力サポーター「まちこがれ隊」
写真下段左より：「FITW2017」新宮町環境課との課題解決に向けた打ち合わせ／「古賀市工場見学したいけんツアー」参加した子ども達の成果発表会をサポート／「新宮町寺子屋事業」出前授業を通じた学生と子ども達との触れ合い



福岡工業大学 学長

下村 輝夫

Co-Creation 第2号発行にあたって

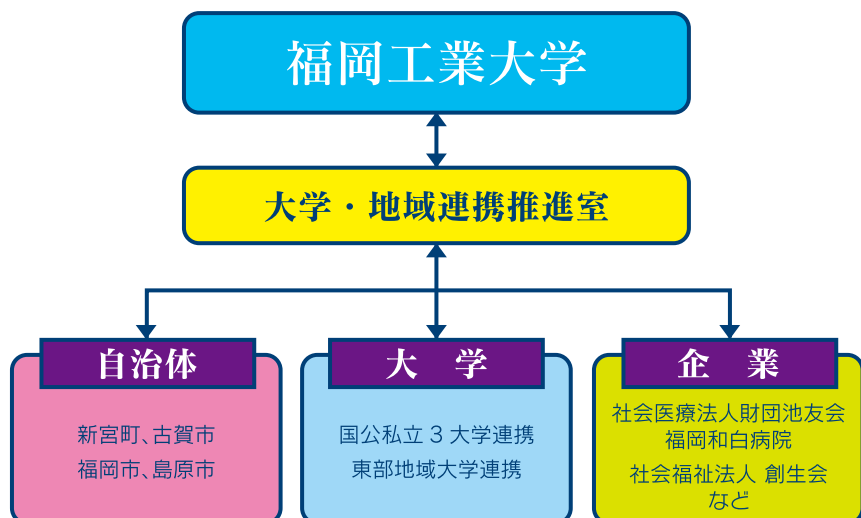
福岡工業大学が持つ人的・物的資源を総合的に活用し、
多様な形で地域社会との連携を推進していくことを目的に、
大学と地域社会とを繋ぐ窓口として平成26年に設置された大学・地域連携推進室。

この間、大学周辺の自治体、企業、近隣他大学との包括的連携協定を活用し、
「地域課題の解決」「地域社会を担う人材育成」「高齢者向け生涯学習」
「小・中学生の学習支援」といった切り口から
数多くの連携事業に取り組んできました。

スタートから4年を経た今、大学・地域連携推進室が目指すのは、
「地域との連携事業を通じた学生の主体的学びの実現」、ならびに
地道な活動の積み重ねによる「福岡東部地区における“知(地)の拠点”
としてのステータスの確立」です。

今回皆様にお届けする Co-Creation 第2号は、連携事業による学生の
アウトカムにフォーカスした内容となっています。

是非、お手に取っていただき、“地域連携”といった視点から
本学の教育・研究活動に関心を持っていただけると幸いです。



福岡工業大学では、学長のリーダーシップの下、連携強化に向けて近隣自治体、大学、企業との「包括的連携協定」を積極的に活用。大学・地域連携推進室が窓口となって、学内複数の学部・学科、各部署と協働し、多種多様な連携事業を展開しています。

特 集

PBL —地域と連動した課題解決型学習の取り組み—

本学では大学が定めるディプロマポリシーに基づき、学生一人ひとりに基礎知識・技術を伝授すると同時に、それらの知識・技術を実世界の具体的な課題へと学生自らが結びつけ、課題解決という目標に向かって、学生同士、地元自治体、企業、地域住民等と協働して主体的に取り組むことができる力の育成に注力しています。平成29年度からは、古賀市・新宮町との包括的連携協定を活用した「課題解決力の育成」のための教育を本格始動。情報工学部、社会環境学部、工学部の複数の学科が、正課授業の内外で「課題解決型学習 (PBL:Project based Learning)」に取り組んでいます。

H29年度 PBL(課題解決型学習)取組一覧

プロジェクト名	学部・学科名	活動形態
たのしんぐうプロジェクト	情報工学部 情報通信工学科 4年	正課授業 卒業研究
古賀市 PBL	情報工学部 システムマネジメント学科 3年	正課授業 システムマネジメント ゼミナールⅡ
新宮町 PBL		
福岡県警 PBL		
新宮町都市整備課 PBL	社会環境学部 社会環境学科 1年	正課授業 教養ゼミナール
古賀市バス乗っ得キャンペーン	社会環境学部 社会環境学科 工学部 知能機械工学科	課外活動 まちこがれ隊
芝浦工業大学グローバルPBL※ ※今年度は試行的に参加	大学院工学研究科 電子情報工学専攻 工学部 電子情報工学科	課外授業

今回は、新宮町、古賀市との連携事業の一環として、大学・地域連携室がサポートした取り組みを中心に、学生の活動の様子と具体的成果について紹介します。



▲たのしんぐうプロジェクト新宮町環境課の皆様と一緒に。



▲古賀市 PBL 工場見学ツアーに参加した古賀市の小・中学生と一緒に。



▲新宮町 PBL 社会科見学で大学を訪れた立花小学校6年生と一緒に。

用語説明

PBLには、「problem-based learning」と「project-based learning」とがあり、両者の定義や使い分けについては統一されたものではありませんが、どちらも、学習者が問題を発見し、その問題を解決するために様々な努力をする過程で、経験や知識を得ていくという学習方法です。「課題解決型学習」、「問題解決型学習」などとも呼ばれます。これまでの、いわゆる「座学」や情報・技能修得重視のインプット型の教育と対比されて語られることが多い。

※出典：「大学ポートレート」日本私立学校振興・共済事業団

ここに注目!

システムマネジメント学科

1 古賀市の企業や自治体と共働! 1年間で2つの課題にチャレンジした古賀市プロジェクト

前期は、古賀市商工政策課の依頼を受け、地元の産業を古賀市の小中学生にPRするとともに、実際に工場見学ツアーの中でものづくりを体験してもらうことを目的とした“古賀市工場見学プロジェクト”の企画・運営に挑みました。プロジェクトメンバー29名が8つの班に分かれて企業担当者との意見交換、工場見学、参加者募集チラシの作成、工場見学プログラムの策定など、毎週1回の授業時間以外にも大学を飛び出して現地へ赴き、8月のツアー実施に向けたアクティビティを展開。その貢献に対し、前期末の振り返りでは、古賀市から感謝状が贈呈されました。後期は、8つの班がそれぞれ古賀市役所や企業が抱える課題を見つけ出し、学科が設定した4つのアプローチの中から解決手法を1つ選び、改善提案を行うという難易度の高い活動に取り組みました。学科で学んだ生産管理や情報技術などの知識や技術を用いて、具体的に市役所や企業の課題解決に貢献していくことが今後の目標です。



▲「工場見学したいけんツアー」実行委員会古賀市、企業担当者との最終打ち合わせ。



▲見学ツアー終了後、子ども達の“学びの振り返り”を学生がサポート。



▲古賀市や企業担当者に後期PBLの最終成果を発表。学生提案1件の実用化が決定しました!

2 先輩たちの“^{レガシー}遺産”を引き継いだ福岡県警プロジェクト 高齢者をターゲットに交通企画課と共働して VRを用いた交通安全シミュレータを開発中

現在日本では、高齢者の交通事故件数が増加しています。そこで本プロジェクトでは高齢者の交通事故死者数を減少させるために「高齢者の交通安全を目指したVRシミュレータの開発」を行っています。プロジェクトメンバーはシステムマネジメント学科3年の女子学生3名。実際に警察で使用している交通シミュレータを見学するため昨年9月に福岡県警察本部を訪問したところ、持ち運びが大変で、導入にかかるコストが高いことが判明。メンバーはこれらの問題点を改善するには、VRが適していると考え、現在も交通企画課の方々にアドバイスをいただきながら、シミュレータの改善に日々取り組んでいます。



▲福岡県警察本部 交通企画課を訪問し担当者からシミュレータ開発に役立つ情報を収集しました。



▲活動成果報告会では交通企画課の方々にVRシミュレータを体験してもらい改善に向けたアドバイスをいただきました。



▲今回の活動成果を纏めてエントリーした「サイエンスインカレ」では全国大会まで進むことができました。

3

新宮町プロジェクトでは立花小学校のICT教育を 学生達が2つの模擬授業でサポート！

昨年1月に福工大-新宮町の連携事業の一環として、システムマネジメント学科の藤岡寛之教授が立花小学校6年生に行ったICT授業。平成29年度は教職課程を履修している学生を中心に、システムマネジメント学科の3年生11名がプロジェクトを結成。「新宮町」、「ICT(主に統計学、プログラミング)」、「小学校での学び(算数、国語、理科、社会)」の3つの要素を含む「ICT体験授業」の企画・運営に取り組みました。学生たちは、立花小学校の安部校長や吉松教頭に指導、アドバイスをいただきながら半年間をかけて「パソコンを活用して新宮町を知ろう～私たちが住んでいるのはどんな町?～」、「パソコンを使っておやつの上手な買い方を考えよう」の2つの授業を完成。2月15日には、本学に6年生20名を招いて体験授業を実施し、大成功を収めました。



▲模擬授業に先立ち立花小学校を訪問し6年生の授業を見学。



▲予行練習では立花小学校の安部 章校長から厳しい指摘を受ける場面も。



▲教員志望の学生にとって今回のPBLは教育実習前の貴重な経験となりました。

ここに注目!

情報システム工学科

3年目突入！新宮町「たのしんぐらプロジェクト」 環境課と連携してゴミ出しアプリを開発！

平成27年度より情報通信工学科と情報システム工学科の2つの研究室が協力し、PBLとしての実績を重ねてきた「たのしんぐらプロジェクト」。新宮町の行政課題に対し、学生達が卒業研究の一環として 町民や新宮町役場の職員と協力し、情報通信技術 (ICT) を活用した改善提案を目指す取り組みを行っています。初めて環境課とプロジェクトを組んだ今回は、情報システム工学科山口研究室の4年生2名が、新宮町内の家庭ゴミの分別や収集に関する情報をスマートフォンで確認できるアプリの開発に取り組みました。実際にフィールドワークを重ねながら開発したアプリの完成度については、学内外から高い評価を受け、福岡市が主催する「学生地域活動大賞」でも優秀賞を受賞しました。



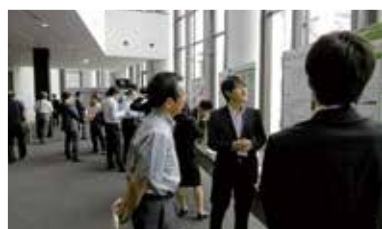
▲新宮町環境課とエントリーした "Fukuoka IT Work Outs" での活動の様子。



▲フィールドワークを2回実施。役場職員、町民の声をアプリ開発に生かしました。



▲活動を引き継ぐ3年生も参加した新宮町役場での最終成果報告会。



▲たのしんぐらプロジェクトは「工大サミット (於: 大阪工業大学)」、「Q-Links (於: 福岡工業大学)」でも本学代表としてポスター発表を行ってくれました。



ここに注目!

社会環境学科

新宮町都市整備課PBL

新宮町と福岡市が共同で運営している鉄骨2階建のJR 福工大前横駐輪場は、平成23年10月から2階が閉鎖され、サイクルスタンドが残ったままの状態になっています。今回、新宮町都市整備課より社会環境学科に対し、行政の目線だけではなく学生視点からのアプローチで、2階スペースの有効活用方法の提案を教養ゼミの課題として取り組んでもらえないか、との打診がありました。社会環境学科では、1年生2つのゼミの学生20名が、8つのチームに分かれて、6月からの4カ月間、公共性、地域性、有効性などを考慮した実現可能な活用法を検討する活動を実施。10月末には新宮町、福岡市の担当職員に向けて提案内容のプレゼンテーションを披露しました。入学直後の1年生にとっては、グループ学習、フィールドワーク、コスト計算、プレゼン資料の作成など、慣れないことの連続で戸惑いもあったようですが、“課題解決とは何か”を学ぶ絶好の機会となったようです。



▲新宮町都市整備課の方々にも参加いただき活動開始のキックオフ!



▲JR 福工大前横駐輪場を視察。提案に向けてアイデアが膨らみます。



▲最終案プレゼンテーションでは新宮町、福岡市の担当者から評価コメントをいただきました。

ここに注目!

課外活動によるPBL

古賀市バス乗っ得キャンペーン

平成28年度の「課題解決型インターンシップ」で、社会環境学科(当時3年)、知能機械工学科(当時2年)の学生2名が、古賀市経営企画課に対して、西鉄バス利用者促進のための解決策として提案した企画が、1年後の夏、「古賀市バス乗っ得キャンペーン」として事業化されました。このキャンペーンの情宣活動とキックオフイベントに、学部・学科、学年の枠を超えて結成された「まちこがれ隊」の学生9名が参加。学生企画が実際の行政施策として実現ただけでなく、行政職員とともに運営まで参加協力させていただいた Good practice として、複数のマスコミにも取り上げられました。



▲JR 古賀駅構内で利用者にイベントグッズを配りながらキャンペーンをPR。



▲西鉄バス車内でテレビ局の取材を受けながらの活動となりました。



▲今回のキャンペーンチラシがこちら! 学生のアイデアを古賀市経営企画課が実現してくれました。

番外編

課題解決型インターンシップ

本学では、授業で学んだ知識を実際の仕事の中で活かす力を育成する取り組みとして、インターンシップ（就業実習）を実施しています。インターンシップには、職場体験型、仕事理解型などその目的に応じていくつかの種類がありますが、近年特に教育的効果が高いと注目されているのが、長期に亘って企業や自治体の課題解決に取り組む「課題解決型インターンシップ」と言われるものです。本学における課題解決型インターンシップは、企業や団体が実際に抱えている課題に取り組み、課題を解決するためのプロセスを重視しており、ひとつの課題に対し学生2名がペアを組み、4週間の実習と事前事後の指導を行うことで、実社会でも応用可能な“就業力”を養うことを目的としています。

平成29年度も協力いただいた企業・団体から示された10件の課題解決のために、学生ペアが“仕事の現場”に飛び込みました。このうち5つの課題は本学と包括的連携協定を結んでいる古賀市、新宮町、福岡和白病院から提供いただいたものです。それぞれの連携先から学生に課された課題は以下の通りです。



▲成果報告会終了後、古賀市の柴田 俊一副市長から学生一人ひとりに激励の言葉をいただきました。

古賀市

環境課

- ①循環型社会形成におけるゴミの効率的な収集について
- ②バイオマス発電の減量となる家庭系生ゴミの効率的な収集方法及び家庭のゴミ出しが困難な世帯に対する支援策の提案

管財課

事業化決定!

- ①公共施設におけるLED化による電力使用量削減効果の検討
- ②公共施設LED化による年間使用電力量の削減見込の算出
- ③LED化でのコスト削減提案資料の作成

人事課

- ①魅力ある採用試験案内の提案
- ②職員採用試験の効果的なPR方法の提案
- ③採用試験案内の募集要項の表紙作成

新宮町おもてなし協会

新宮町内の住民や、観光で町を訪れた人たちに、新宮町おもてなし協会の知名度を高め、「新宮劇場」などの各種取組みへの認知向上や観光サイト「新宮navi」へのアクセス数増加を図る

福岡和白病院医事課

患者様だけでなく病院で働いている人たちが抱えている課題を発見しそれを解決する

学生が取り組む課題は、自治体や企業が実際に直面している課題の中から設定されます。インターンとして役所や企業に派遣された学生は、地域の産業振興や住民サービス、来院者の利便性向上といったリアルな課題と向き合い、自分自身の知識や能力をフル活用して解決策を提案します。提案までの様々な問題、障害をチームワークで乗り越え、解決することで、学生は達成感と同時に自分自身の成長を実感することができます。一方で、自治体や企業にとっても学生の提案が課題解決に向けたヒントになることは勿論、「古賀市バス乗っ得キャンペーン」「公共施設における照明のLED化」のように、事業として実現化されるものもあります。このようにインターンシップとPBLをかけ合わせた本学オリジナルの「課題解決型インターンシップ」は、課題解決を通じて、学生の主体的学びと地域活性、地域貢献がリンクする取り組みとして注目されています。

地域連携／新宮町との連携

連携関係の深まりと共に、新宮町での学生の存在が確かなものになりました。

本学にとって、新宮町は包括的連携協定を締結した初めての自治体です。お互い手探り状態からのスタートでしたが、協定締結から4年という歳月を経て、お互いの“顔の見える関係”が深まっていくにつれ、様々な連携事業に取り組む学生達は、役場の職員や町民の皆様から頼りにされる存在に成長しました。平成29年度は大学1年生の活動も飛躍的に増加。PBLやインターンシップに限らず、様々なボランティア活動を通じた成長が、学生生活の充実に繋がっています。



クリーン作戦

新宮町の豊かな自然を守っていくために毎年4月29日に開催されている「新宮町クリーン作戦～ラブアース・クリーンアップ」。新宮町職員、企業・団体の皆様と共に学生33名、職員5名が参加し、新宮海岸一帯のゴミ拾いに汗を流しました。清掃しながら漂着ゴミの経路を考える学生の姿もあり、地球規模での環境問題を考える有意義な環境保全活動となりました。



歳末パトロール

年の瀬を間近に控えた12月15日、住民・警察・消防・行政が一体となって取り組む防災防犯活動の一環として「歳末町内一斉安全安心パトロール」が夜7時より行われました。本学からは男子学生有志8名が参加。師走の寒空の下、長崎町長を先頭に総勢300名が、JR新宮中央駅前の沖田中央公園を皮切りに、町内約1.6キロを巡回しながら、安全安心なまちづくりを呼びかけました。



寺子屋事業

夏休み中の子ども達の居場所づくりと地域ぐるみの子育て支援を目的として、町内14の行政区で実施された「地域寺子屋事業」。本学からは子ども達をサポートする“見守りボランティア”として23名の学生が延べ73回の活動に参加。また、大学ならではの長をを活かした大学・短大の教員による“出前授業”を13プログラム、延べ17回実施。多くの子ども達にサイエンスの面白さを体験してもらいました。



子ども体験クラブ・サマーキャンプ

自然体験・野外活動を通じた子ども達の成長を目的とした「子ども体験クラブ」と「サマーキャンプ」。今年も学生6名がボランティアとして参加しました。特に子ども達と寝食を共にしたサマーキャンプでは、新宮町関係者の皆さんと協働し安全で円滑な運営をサポート。「ボーイスカウトの経験を活かしたい!」「将来学校の先生になりたい!」という思いで子ども達の成長を後押ししました。

地域連携／古賀市との連携

古賀市の行政課題を切り口に、お互いの強みを活かした連携事業を展開しました。

古賀市と本学との連携は、“事業領域の広がり”、“事業内容の深まり”、の両方で確実に成果を挙げつつあります。平成29年度からは古賀市のまちづくりのテーマである「モノづくり、ひとづくり、健康づくり」に関し、学生達が古賀市をフィールドに、人材育成、地域経済活性化といった諸課題を自治体職員や企業の方々と共有し、解決に導く取り組みを開始。特集ページで紹介した課題解決型の教育プログラムとあわせ、連携とその成果が多層的に広がっています。

■ 教育支援活動

連携開始時からの学習支援アシスタント（授業中や放課後学習のサポート）に加え、平成29年度よりヤングアドバイザー（いじめや不登校等、心に不安や悩みを持つ子ども達の学習や体験活動サポート）、学童保育補助指導員（学童保育所での宿題や活動サポート）へと活動の幅が広がりました。教職課程履修学生を中心に、延べ216回の活動を実施し、学内外から高い評価を得ています。



■ 古賀展

古賀市の産業、歴史、観光名所をPRする展示会「古賀展」を、10月16日から11月7日まで、本学エクステンションセンターで開催しました。期間中、学園祭と重なった11月3日には、古賀市職員も応援に駆けつけ、古賀市の名産品が当たるガラポン抽選会を実施。親子連れなど多くの来場者で賑わいました。展示会の様子はケーブルテレビでも紹介され、古賀市の魅力発信に一役買いました。

■ 農業研究連携

古賀市が目指す“付加価値の高い農業”に応用可能な研究連携の一環として、古賀市農林振興課の仲介により、J A粕屋青年部と工学部電気工学科北崎研究室とのコラボレーションが実現。平成30年4月、古賀市の特産品であるスイートコーンの種子に北崎助教の研究テーマであるプラズマを照射して、照射の有無による成長の違いを実際の農地で証明しようという大規模な実証実験が始動します！



地域連携／福岡市との連携“大学ネットワークふくおか”

学生を対象とした“ビジネスチャレンジ事業”で福工大チームが最優秀活動賞に輝きました！

福岡都市圏19大学が加盟する「大学ネットワークふくおか」が大学生の起業マインドの醸成と社会人基礎力の向上を目的に実施しているビジネスチャレンジ事業。独自のビジネス計画を提案し、審査を通過した10大学7チームの学生達が、福岡市より最大20万円の活動支援を受け、半年をかけて目標達成に取り組みました。2月13日に行われた最終成果報告会では、高齢者向け有料自伝制作サービスに挑戦した福工大チーム「タイムカプセル」が、スケジュールや予算の管理をしっかり行いながら着実に成果を上げ、期間中に事業を完遂できた点が高く評価され、見事最優秀活動賞に選ばれました。



国公私3大学連携／長崎大学・熊本県立大学・福岡工業大学

自然科学、社会科学の両面から3大学の研究者が大規模自然災害に向き合いました。

国公私3大学連携では、環境系学部所属する研究者や学生が、年に1回それぞれの大学での環境教育ならびに研究活動について成果報告を行う「環境フォーラム」を軸に活動を展開しています。昨年の12月9日に熊本県立大学で行われた第4回フォーラムでは、熊本大地震や北部九州豪雨のような大規模自然災害をテーマに、大学に求められるものは何か、自然科学と社会科学の専門家として何ができるかについて、3大学の研究者、学生達が活発な意見交換を行いました。本学からは社会環境学部の森山聡之教授が日頃の教育研究活動について講演を行い、そのエネルギーな活動内容には、他大学の学生達からも熱い視線が注がれていました。



東部地域大学連携／九州産業大学・福岡女子大学・福岡工業大学

3大学が連携して福岡市東部地域における“知の拠点”を目指します！

協定締結6年目を迎えた東部地域大学連携。この間「地域と共に発展する大学」を目指し地道な活動を続けてきました。平成29年度からは、福岡市が掲げる“共創のまちづくり”に連動した取り組みが本格化。東区役所と協働し、学生による地域貢献活動は勿論、3大学の研究者も参加して、地域力向上のための課題解決に向けた調査・研究が始まりました。



学生懇話会

各校の学生自治会・学友会のメンバーで構成される学生懇話会を年に3回開催し、東部地域大学連携の地域貢献および学生交流活動について協議しました。平成29年度は、各校の自治組織の活動を紹介し、お互いがそれぞれの良いところ、課題を共有し合う大学自治活動に関する報告会を実施するなど、これまでとは異なる視点から学生交流に取り組む姿勢も見られました。今後の発展が期待されています。



地域貢献活動

学生懇話会初めての試みとして、昨年9月10日に行われた「香椎浜花火大会」の翌日、3大学の有志が会場となった片男佐海岸周辺の商業施設の駐車場を、近隣住民のボランティアの皆さんと一緒に清掃しました。また、福岡県東警察署が主催して11月25日イオンモール香椎浜駐車場で行われた「年末年始特別警戒出動式」では、訪れた買い物客に飲酒運転や振込詐欺防止を呼びかけました。



第1回なみき芸術文化祭

福岡市東区のなみきスクエアの開館1周年を記念して、昨年6月4日に行われた「第1回なみき芸術文化祭」で、東区から出店要請を受けた3大学の留学生在が屋台でお国自慢料理やスイーツを実演販売。本学からは、タイの留学生在がタイ式焼きそばとハイビスカスドリンクを提供し大好評でした。ここでも留学生在同士が事前準備や会場での対応を協働するなど、交流を深める良い機会となりました。

女子学生のための防犯推進協議会

3大学の女子学生が、防犯に対する意識の高揚を図ること、地域の“安全・安心な街づくり”に寄与することを目的として平成28年4月に発足した「女子学生のための防犯推進協議会」。平成29年度は本学FIT女子会メンバーが中心となって、防犯キャンペーンへの参加、犯罪から身を守るためのオリジナル啓発グッズの作成、SNSによる情報発信など、女子学生目線による精力的な活動を展開。その功績が評価され、昨年10月24日に開催された「県民の集いふくおか」では、福岡県から防犯功労者として表彰を受けました。



東区委託事業シンポジウム

東部地域大学連携では、発足以来福岡市東区からの委託を受けて、「共創のまちづくり」に貢献すべく、地域住民を対象とした公開講座や、東区アイランドシティに関する学生のPBLに取り組んできました。平成28年度からは「超高齢・長寿社会を支える“地域力”について考える」をテーマに、3大学の研究者が東区29校区の現状に基づいた課題を設定し、その解決のための調査・研究を行いながら、解決のための提言を纏めるといふ3ヶ年の研究連携に取り組んでいます。今年の3月10日には、福岡市が主催して、研究者による中間報告と地域の皆様、行政担当者を交えてのパネルディスカッションからなるシンポジウムをなみきスクエアで開催しました。本学からは社会環境学部の松藤賢二教授が、東区美和台校区住民へのアンケート結果をもとに“多世代による地域力向上に向けた人材の発掘・育成・承継”というタイトルで研究成果を発表。実際に



地域活動に携わっておられる校区の方々からは、「解説が具体的で非常にわかりやすかった」「今後の地域活動のヒントになった」など高い評価をいただきました。引き続き平成30年度の提言発表に向けて、3大学研究者には、地域の皆様だけでなく行政担当者の方からも大きな期待が寄せられています。

医介学連携／福岡和白病院・創生会・福岡工業大学

地域の皆様の健康寿命延伸のために3者の特長を生かした連携事業に取り組みました。

社会医療法人財団池友会 福岡和白病院、社会福祉法人創生会と福岡工業大学。医介学連携では、3者が相互に協力し、健康長寿を基盤とするコミュニティの形成と、地域を支える人材の育成に寄与することを目的に、和白5校区(和白・和白東・美和台・三苫・奈多)を中心に健康で豊かな地域づくりを進めています。

医介学連携講座

高齢者向け生涯学習の推進と地域住民同士の交流促進の観点から、エクステンションセンター「FITオープンカレッジ」の中で、「医介学連携講座」を無料で開講しています。平成29年度は、高齢者の関心が高い「がん」「糖尿病」「認知症」をテーマに、NPO団体、福岡和白病院、創生会から講師を招聘し3回の講座を開講。回を重ねるごとにリピーターも増え、「健康講座」として地域の皆様の支持を集めるようになりました。



学生ボランティア

福岡和白病院が、毎週火曜日に実施している、地域高齢者を対象とした「体操教室」に、昨年の夏休み、社会環境学部の1年生3名がボランティアとして参加。受付と体操指導補助業務を体験しました。また10月には、奈多創生園の「手作りアート等作品展」に写真部、モダンアート部、サブカルチャー同好会の学生が作品を出展。会場での地域の皆様との触れ合いは、キャンパスでは体験できない異世代交流の貴重な経験となりました。

地域包括ケア連携会議

国や福岡市が進めている“地域包括ケアシステムの構築”に向けた貢献として、東区保険福祉センターからの依頼を受け、昨年8月「地域包括ケア連携会議」を本学で開催。87名が参加し、地域で生活する高齢者を支える上での課題や要望について連携を図ることを目的に、病院関係者、在宅訪問薬局、介護事業所、地域住民がお互いに顔を見ながら2時間に及びディスカッションを行い、相互理解、情報共有を促進しました。



2017年度活動一覧

4月

- 東部地域大学連携「第1回学長懇話会」
- 東部地域大学連携「学生懇話会・女子学生のための防犯推進協議会」認定書交付式
- 東部地域大学連携「性犯罪防止キャンペーン」参加協力（於：JR香椎駅）
- 新宮町「クリーン作戦（町内一斉清掃活動）」学生ボランティア参加

5月

- 新宮町「子ども体験クラブ」ボランティア学生派遣
- 医介学連携「第4回医介学連携講座“がんからの贈り物”」
- 新宮町・福岡工業大学「第1回連携協議会」（於：新宮町役場）
- 新宮町たのしんぐらプロジェクト「ふくおかITWorkouts2017 Kickoff Workout」参加（於：福岡大学）
- 新宮町「JR福工大前駅前駐輪場再開発プロジェクト」PBLキックオフ（社会環境学科尹ゼミ、田中ゼミ）
- 古賀市・福岡工業大学「第1回連携協議会」（於：古賀市役所）
- 古賀市「ヤングアドバイザー」ボランティア学生活動開始
- 古賀市「学童保育所補助指導員」ボランティア学生活動開始

6月

- 東部地域大学連携 留学生交流事業「第1回 なみき芸術文化祭」屋台出店
- 福岡県アンビシャス広場等連携事業
- 第11回子どものまるごと体験フェスティバル2017」参加協力
- 古賀市「留学生短期インターンシップ」タイ人学生派遣（古賀東小学校）
- 東部地域大学連携「第1回推進委員会」
- 大学ネットワークふくおか「ビジネスチャレンジ事業」エントリー（2チーム）
- 東部地域大学連携「第1回学生懇話会・女子学生のための防犯推進協議会」
- 古賀市「学習アシスタント」ボランティア学生活動開始

7月

- 新宮町「寺子屋事業」運営協力、ボランティア学生活動開始（於：新宮町内）
- 新宮町「JR福工大前駅前駐輪場再開発プロジェクト」PBL中間発表会（社会環境学科尹ゼミ、田中ゼミ）
- 医介学連携「第1回連携協議会」

8月

- 医介学連携「和白周辺地区地域包括ケア連携会議」開催協力
- 新宮町「子ども体験クラブ」ボランティア学生派遣
- 新宮町「わくわく子ども夏祭り」参加協力
- 医介学連携「福岡和白病院体操教室」ボランティア学生派遣
- 国公私環境系3大学連携「第6回ピオトップ研究交流会」（福岡工業大学「ピオトップ研究会」、長崎大学「ピオトップバレット」）
- 創生会「就業体験型インターンシップ」学生派遣
- 新宮町「サマーキャンプ」ボランティア学生派遣
- 古賀市「第5回古賀モノづくり博『工場見学・体験教室』」
- 新宮町たのしんぐらプロジェクト「ふくおかITWorkouts2017 CommunicationWorkouts」参加（於：福岡大学）
- 「課題解決型長期インターンシップ」活動開始（於：古賀市、新宮町、福岡和白病院）

9月

- 古賀市「バス乗っ得（のっとく）キャンペーン」キックオフイベント参加（学生プロジェクト「まちこがれ隊」）
- 東部地域大学連携「香椎浜清掃活動」参加協力（於：香椎浜片男佐海岸）
- 新宮町「子ども体験クラブ」ボランティア学生派遣
- 古賀市「農業振興のための意見交換会」（古賀市農林振興課、知能機械工学科江頭研究室、電気工学科北崎研究室）
- 大学ネットワークふくおか「ビジネスチャレンジ事業」中間報告会参加
- 島原市長・市役所職員 来校

10月

- 福岡県警察本部 特別講義開講「警察の交通事故統計」（システムマネジメント学科1年生「確率統計I」）
- 医介学連携「第5回医介学連携講座“知って得する糖尿病の話”」
- 東部地域大学連携 女子学生のための防犯推進協議会「安全安心まちづくり県民の集いふくおか」防犯功労者として表彰（於：エルガーホール）
- 東部地域大学連携「JR博多駅安全安心キャンペーン」参加協力（於：JR博多駅）
- 古賀市PRイベント「古賀展」開催（於：福岡工業大学エクステンションセンター）
- 医介学連携「奈多創生園作品展」出展（写真部・モダンアート部・サブカルチャー同好会）
- 東部地域大学連携「性犯罪防止キャンペーン」参加協力（於：JR千早駅）
- 新宮町「JR福工大前駅前駐輪場再開発プロジェクト」PBL最終発表会（社会環境学科尹ゼミ、田中ゼミ・藤井ゼミ）
- 医介学連携「三苦地区住民安心メール登録会」学生ボランティア派遣

11月

- 島原市との教育連携・研究連携に関する第1回関係者意見交換会
- 新宮町・福岡工業大学「第2回連携協議会」（於：福岡工業大学）
- 医介学連携「第6回医介学連携講座“私が要介護になったら - 介護保険と福祉について - ”」
- 新宮町「子ども体験クラブ」ボランティア学生派遣
- 東部地域大学連携「歳末交通安全安全キャンペーン」参加協力（於：香椎浜イオンモール）
- 東部地域大学連携「第2回学生懇話会・女子学生のための防犯推進協議会」
- 新宮町たのしんぐらプロジェクト「ふくおかITWorkouts2017 PresentationWorkouts」（成果報告会）参加

12月

- 大学ネットワークふくおか「学生地域活動大賞」優秀賞受賞（於：福岡NPO・ボランティア交流センターあすみん）
- 国公私3大学連携「第4回環境フォーラム」参加（於：熊本県立大学）
- 医介学連携「第2回連携協議会」
- Q-conference2017 ポスターセッション参加（於：福岡工業大学）
- 東部地域大学連携「第2回推進委員会」
- 新宮町「歳末一斉安心安全パトロール」ボランティア学生派遣

1月

- 東部地域大学連携「第3回学生懇話会・女子学生のための防犯推進協議会」
- 古賀市PBL成果発表会（システムマネジメント学科）
- 九州地区中高生対象「省エネ政策提案型パブリック・ティベートコンテスト」開催協力

2月

- 東部地域大学連携「第2回学長懇話会」
- 大学ネットワークふくおか「ビジネスチャレンジ事業」最優秀賞受賞（「タイムカプセル」）
- 新宮町PBL立花小学校社会科見学受入・体験授業実施（システムマネジメント学科）
- 島原市長・市役所表敬訪問
- 福岡市「共創のまちづくり推進連絡会議」（於：なみきスクエア）
- 古賀市「農業振興のための研究連携に関する意見交換会」（古賀市・JA古賀青年部・北崎研究室）
- 古賀市・福岡工業大学「第2回連携協議会」（於：古賀市役所）

3月

- 東部地域大学連携「東区委託事業シンポジウム“超高齢・長寿社会を支える地域力を考える”」（於：なみきスクエア）
- 福岡県警プロジェクト成果発表会（システムマネジメント学科、於：福岡県警察本部）
- 福岡和白病院「就業体験型インターンシップ」学生派遣
- 新宮町「人丸公園ピオトップ自然観察会」開催（社会環境学科ピオトップ研究会）
- 医介学連携「第3回連携協議会」
- 福岡市市民総合防災訓練（東区会場）第1回分科会（於：勝馬小学校）
- 島原市との教育連携・研究連携に関する第2回関係者意見交換会
- 東部地域大学連携「福岡県性犯罪防止ネットワーク研修会」参加協力（於：福岡県庁）